

Power of Equity

IR Japan



# 決算説明会資料

2021年3月期 第3四半期

(2020年4月1日～2020年12月31日)

2021年2月19日

株式会社アイ・アール ジャパンホールディングス (6035)

本決算説明会資料は、決算情報の開示のみを目的として当社が作成したものであり、日本国、米国またはそれ以外の一切の法域における有価証券の買付けまたは売付け申し込みの勧誘を構成するものではありません。

また本決算説明会資料の作成にあたり、当社は当社が入手可能なあらゆる第三者からの情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本決算説明会資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本決算説明会資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本決算説明会資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。

# **1. 2021年3月期 第3四半期 業績報告**



## ■ 第3四半期連結累計期間も過去最高の売上、利益を達成

|                             | 当第3四半期連結累計期間<br>(2020年4月—2020年12月) |             |              | 前年同期<br>(2019年4月—2019年12月) |
|-----------------------------|------------------------------------|-------------|--------------|----------------------------|
|                             | 金額<br>(百万円)                        | 増減<br>(百万円) | 前期増減率<br>(%) | 金額<br>(百万円)                |
| 売上高                         | 6,008                              | 910         | 17.9         | 5,098                      |
| 営業利益                        | 2,861                              | 542         | 23.4         | 2,318                      |
| 経常利益                        | 2,855                              | 540         | 23.3         | 2,315                      |
| 親会社株主に帰属<br>する四半期純利益        | 1,916                              | 323         | 20.3         | 1,592                      |
| (参考)<br>EBITDA <sup>※</sup> | 3,029                              | 543         | 21.9         | 2,485                      |

※EBITDA：経常利益＋支払利息＋減価償却費



## 2021年3月期 第3四半期 費用内訳

## ■ 積極的な人材への投資を継続した結果、販管費が増加

(百万円)

| 内訳        | 費用科目        | 当第3四半期<br>累計期間<br>(2020年4月—2020年12月) | 前年同期<br>(2019年4月—2019年12月) | 増減  |
|-----------|-------------|--------------------------------------|----------------------------|-----|
| 変動費（売上原価） | 外注費         | 439                                  | 447                        | ▲7  |
| 固定費（販管費）  | 人件費         | 1,489                                | 1,272                      | 217 |
|           | 減価償却費       | 172                                  | 169                        | 3   |
|           | 地代家賃        | 286                                  | 278                        | 7   |
|           | システム費を含むその他 | 757                                  | 607                        | 150 |
| 変動＋固定合計   | 売上原価＋販管費合計  | 3,147                                | 2,779                      | 367 |



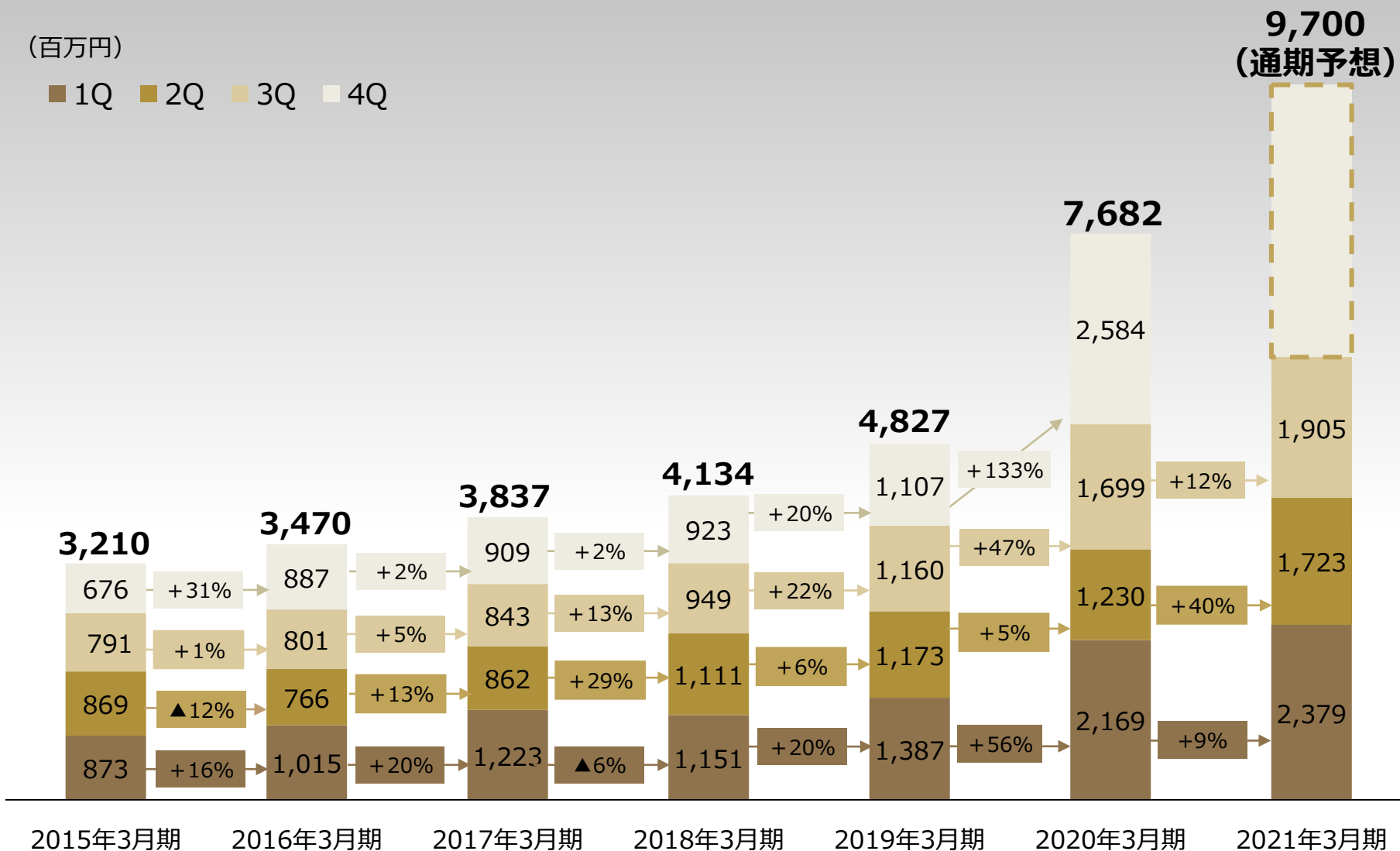
- 上場企業へのSRコンサルティングの進展においては、コロナ禍の影響を受け切迫度が緩んだ状況を呈した
- 一方、ストラテジックバイヤーによる企業支配権争奪に関与したTOB、アクティビストによる敵対的TOBならびに臨時株主総会の開催要求が加速。さらには東証による市場区分の見直しに向けた移行プロセス発表の影響を受け、企業再編の動きが活発化
- SRコンサルティング部・投資銀行部は、こうした事業機会を的確に捉え、PA・FA等の支配権争奪、アクティビスト対応、MBO等の大型プロジェクト受託を引き続き増加させるとともに、既存ならびに新規のお客様に対して、資本リスク対応、事業再編実務指针对応、ESG対応等の厚みのあるエクイティコンサルティングサービスを拡充し、当第3四半期累計期間の業績は、過去最高の売上、利益を達成



# 四半期別売上高の推移

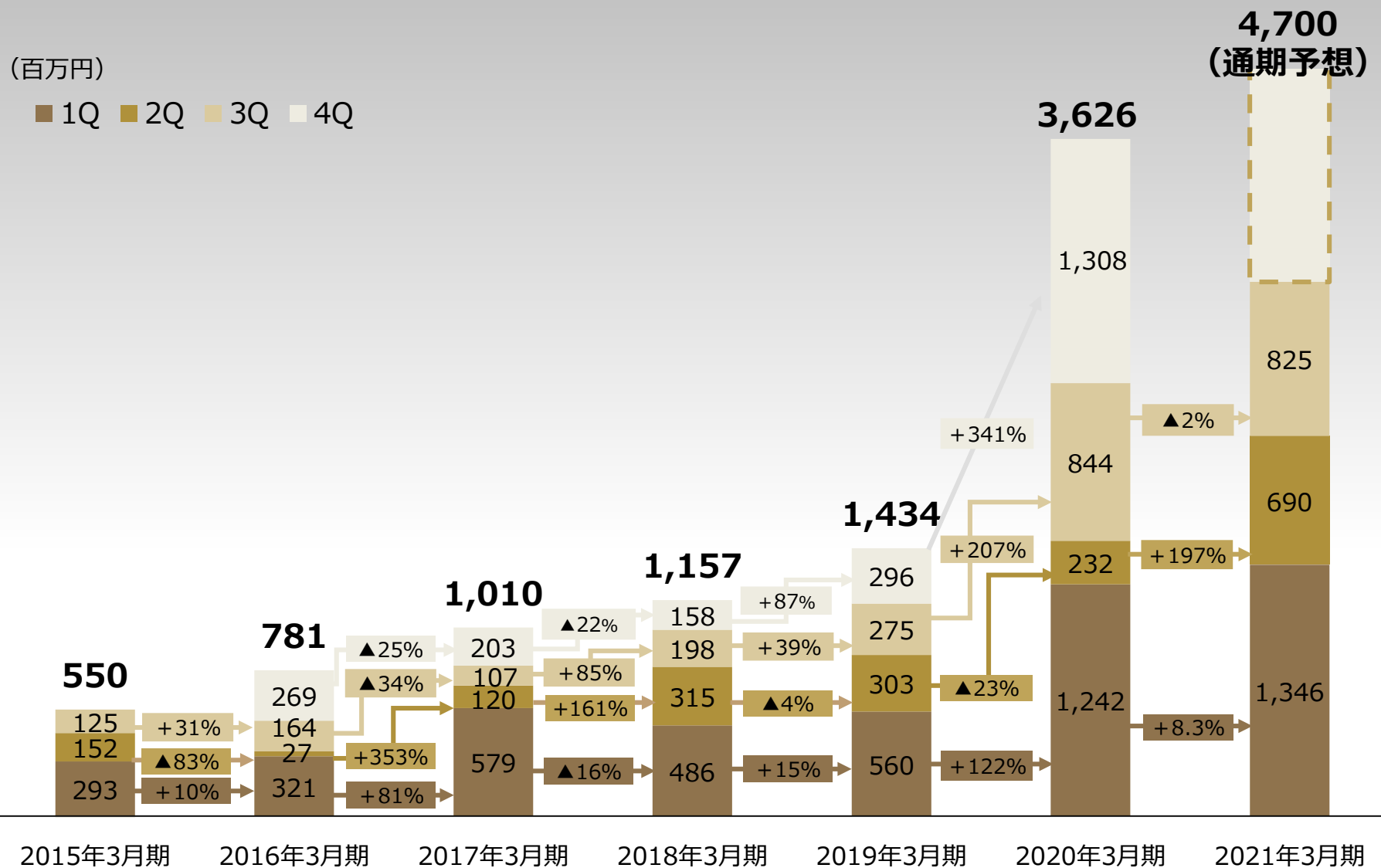
(百万円)

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q





# 四半期別営業利益の推移







# 大型プロジェクトの状況

## 大型プロジェクト\*の契約件数及び売上（予定）金額の推移 ※2020年10月30日開示時点

(百万円)

|                               | 上期 |       | 下期          |       |           |       | 通期 |       |
|-------------------------------|----|-------|-------------|-------|-----------|-------|----|-------|
|                               | 実績 |       | 第 2 四半期発表時点 |       | 第 3 四半期以降 |       |    |       |
|                               | 件数 | 金額    | 件数          | 金額    | 件数        | 金額    | 件数 | 金額    |
| 2021年 3 月期<br>(2020/10/30公表)  | 13 | 1,694 | 13          | 1,742 | —         | —     | 26 | 3,437 |
| 2020年 3 月期<br>(2020/ 5 /15公表) | 7  | 702   | 9           | 1,058 | 7         | 1,479 | 23 | 3,238 |
| 増減                            | 6  | 993   | 4           | 685   | —         | —     | 3  | 198   |

\*売上高5,000万円以上のプロジェクト

## 既契約大型プロジェクト\*の種類、売上（予定） ※2020年10月30日開示時点

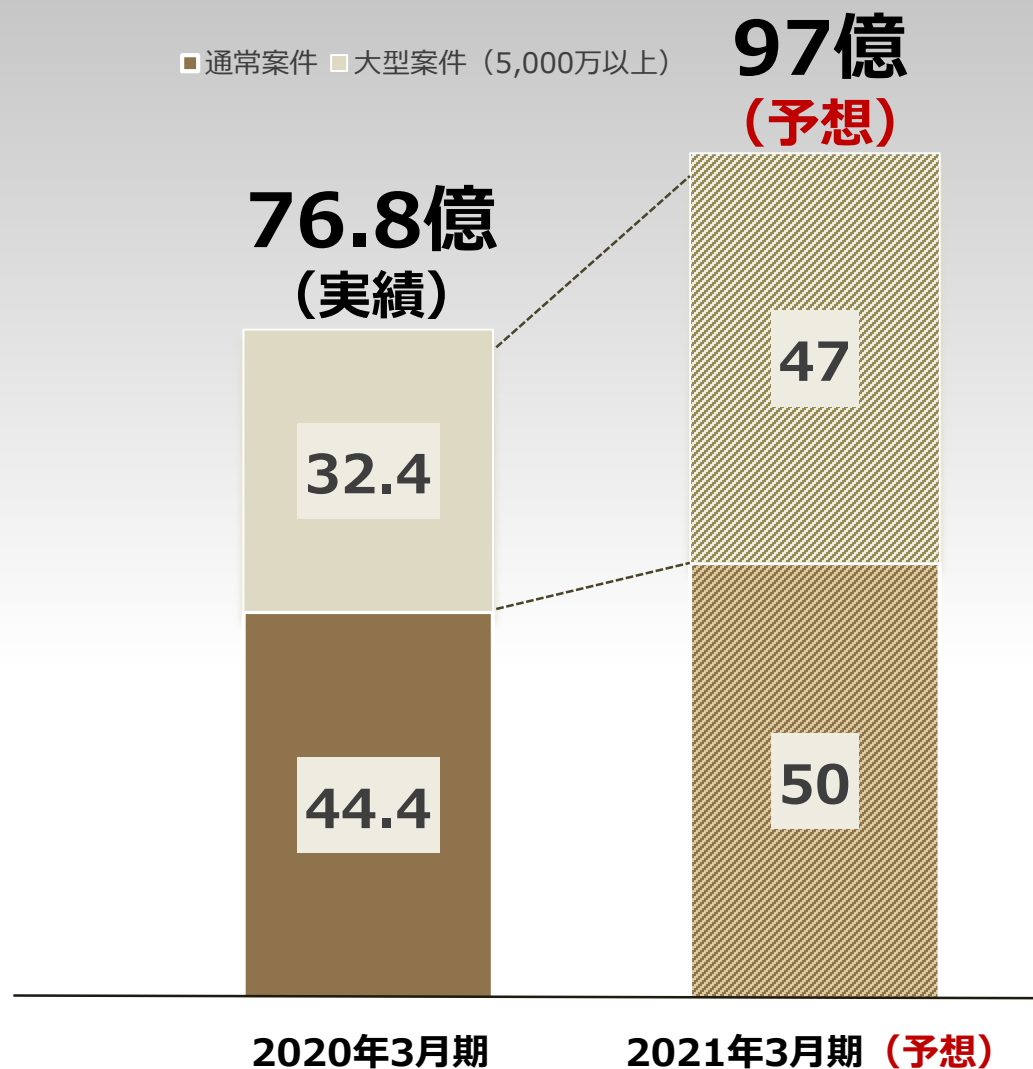
| プロジェクトの種類      | 2021年3月期  | 2020年3月期 | 増減   |
|----------------|-----------|----------|------|
|                | 第2四半期発表時点 | 実績       |      |
| 支配権争奪PA・FA     | 1,187     | 909      | 277  |
| アクティビスト対応PA・FA | 1,524     | 1,514    | 10   |
| MBO等企業側FA      | 325       | 705      | ▲380 |
| 大型SR・PA        | 400       | 110      | 290  |
| 合計             | 3,437     | 3,238    | 198  |

\*既契約案件：2021年3月期に終了する案件(通期業績予想に織り込み済み)。なお、現在契約進行中である大型のパイプライン等の見込案件は当該案件に含んでおりません。

**現時点において、新たに大型プロジェクト5件（1,000百万円強）の契約進行中**



# 通期業績予想：大型案件／通常案件





# 大型プロジェクトパイプライン\*

| 案件内容      | 契約先                 | 当社の契約形態 | 内容        |
|-----------|---------------------|---------|-----------|
| 支配権争奪     | 上場企業（時価総額5,000億円以上） | FA・PA   | TOB       |
| 支配権争奪     | 上場企業（時価総額500億円以上）   | FA・PA   | 事業戦略、M&A  |
| 支配権争奪     | 上場企業（時価総額500億円以上）   | FA・PA   | 事業戦略、M&A  |
| 支配権争奪     | 上場企業（時価総額500億円以下）   | FA・PA   | TOB       |
| アクティビスト対応 | 上場企業（時価総額1,000億円以上） | FA・PA   | 事業再編      |
| アクティビスト対応 | 上場企業（時価総額1,000億円以上） | FA・PA   | 事業戦略、株主還元 |
| アクティビスト対応 | 上場企業（時価総額500億円以上）   | FA・PA   | 事業再編      |
| アクティビスト対応 | 上場企業（時価総額500億円以下）   | FA      | 事業再編、TOB  |
| アクティビスト対応 | 上場企業（時価総額500億円以下）   | FA・PA   | 事業戦略、SR   |
| アクティビスト対応 | 上場企業（時価総額500億円以下）   | FA・PA   | 事業戦略、SR   |
| 大型SR支援    | 上場企業（時価総額1,000億円以上） | FA・PA   | 事業再編、M&A  |
| MBO       | 上場企業（時価総額500億円以上）   | FA      | MBO       |
| MBO       | 上場企業（時価総額500億円以下）   | FA      | MBO       |
| MBO       | 上場企業（時価総額500億円以下）   | FA      | MBO       |
| 資産売却      | 未上場企業               | FA      | 不動産売却     |

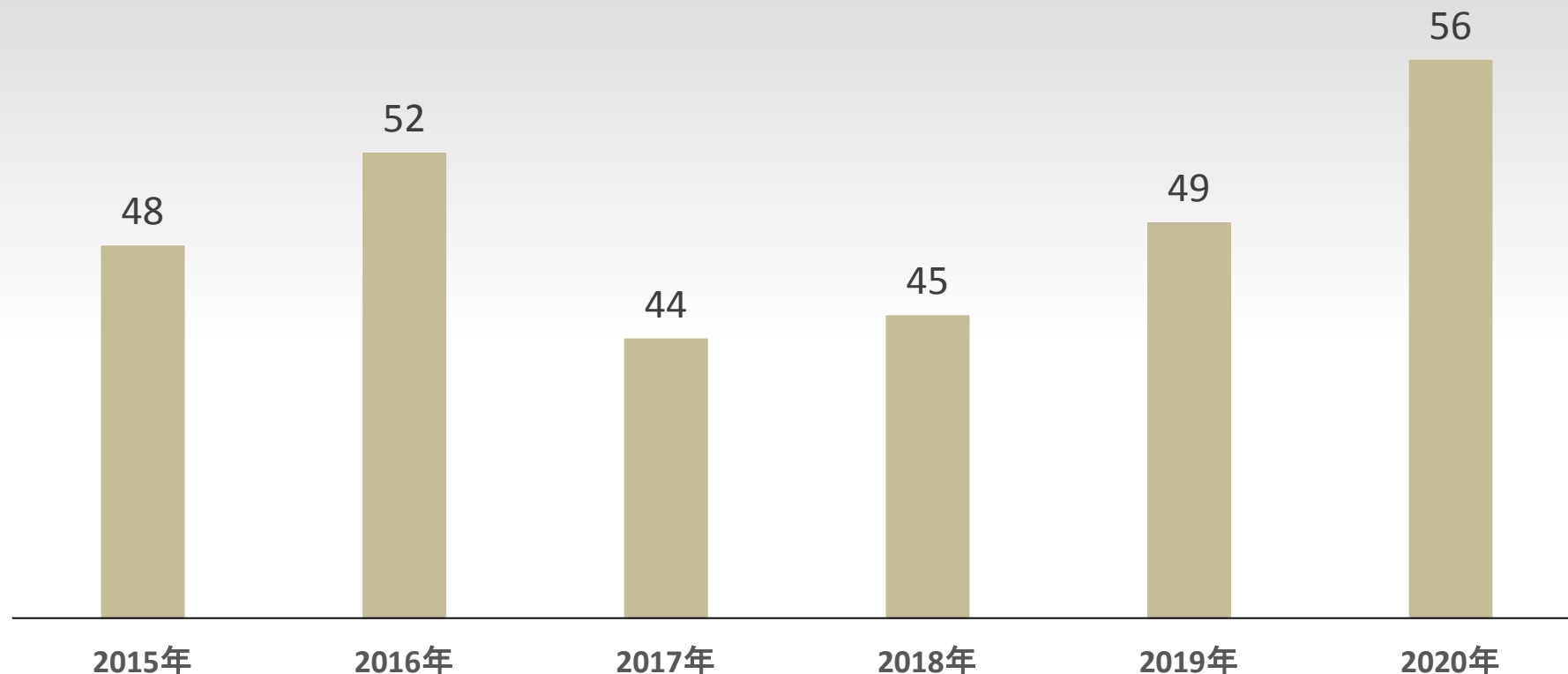
\* 上記の大型プロジェクトは、2021年3月期に一部計上予定の案件となります。



## 企業再編、支配権争奪をめぐる動きの活発化

- 国内TOB（株式公開買い付け）は約60件（自己株TOBは除く）と 過去最高水準になるなど我が国の企業再編の胎動が時代の変化として顕著に現れる

### 日本で届出をしたTOB件数の推移





# 我が国における企業再編の胎動

■ 市場再編、グループ再編、資産売却、資本提携の見直し、親子上場の解消などの事業再編を具現化する動きが、急速に進展

## TOB

日本製鉄による東京製綱へのTOB

ニトリHDによる島忠へのTOB

三井不動産による東京ドームへのTOB

コロワイドによる大戸屋へのTOB

前田建設工業による前田道路へのTOB



## 事業再編に向けた動き

NTTによるNTTドコモの完全子会社化

伊藤忠商事によるファミリーマートの完全子会社化

ソニーによるソニーフィナンシャルHDの完全子会社化

LIXILによるLIXILビバの売却

日立製作所による日立化成の売却





## ■ アクティビストは、敵対的TOBならびに臨時株主総会の要求などのイベントドリブン戦略を実行する段階に突入

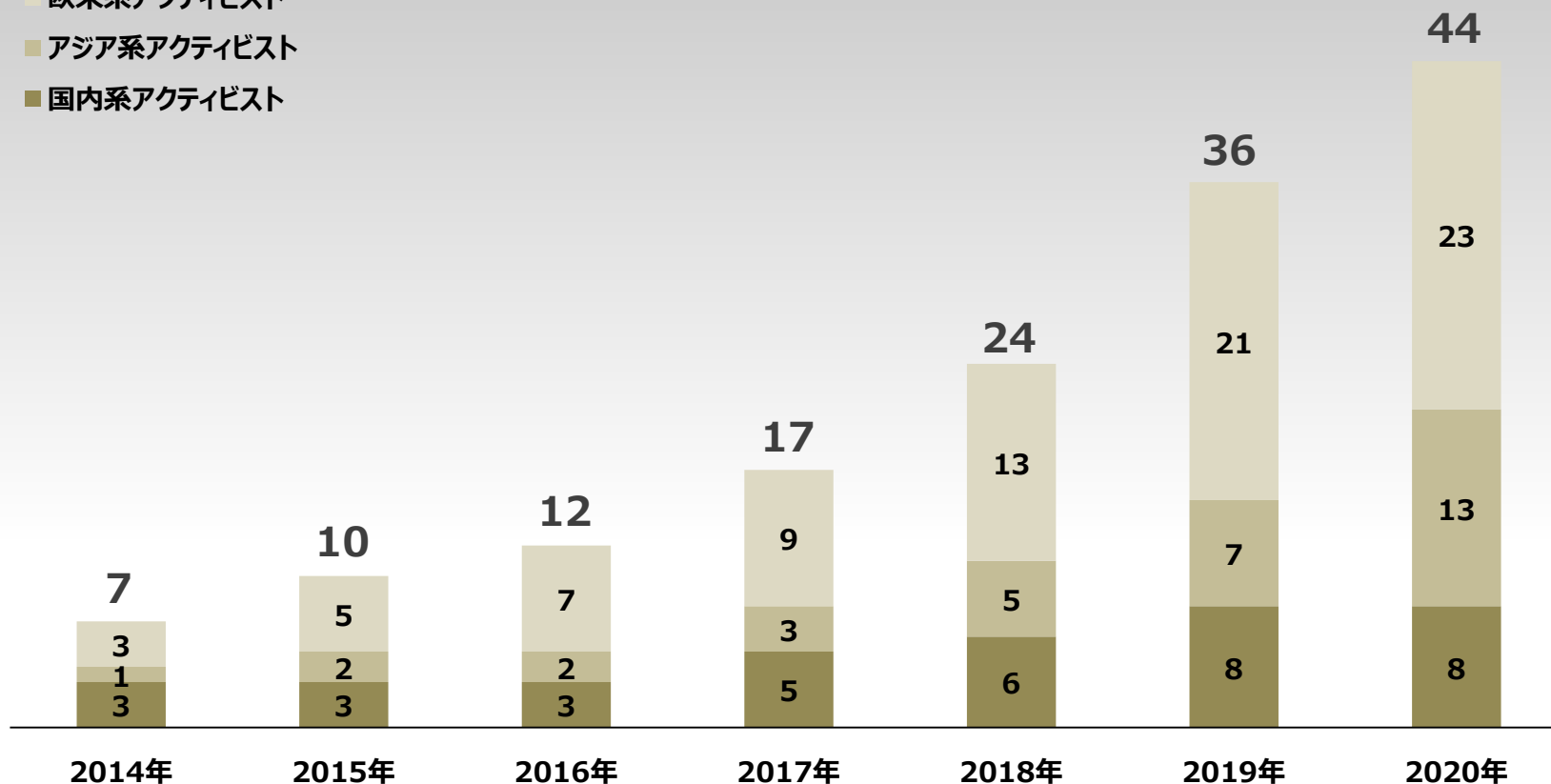
| ファンド名                       | 対象企業名     | 提案時期    | 要求内容                                                 |
|-----------------------------|-----------|---------|------------------------------------------------------|
| 3d Investment Partners      | 東芝        | 2020/6  | 株主提案（取締役2名選任）                                        |
| Effissimo Capital           | 東芝        | 2020/6  | 株主提案（取締役3名選任）                                        |
| Oasis Management            | ファミリーマート  | 2020/8  | 伊藤忠商事からのTOBに際し、特別配当の実施を求めるリリースを公表。                   |
| RMB Capital                 | ファミリーマート  | 2020/8  | 伊藤忠商事からのTOBに際し、価格引上げを提案（レターを公表）                      |
| Oasis Management            | 東京ドーム     | 2020/10 | 臨時株主総会招集請求（取締役3名解任）                                  |
| ストラテジック<br>キャピタル            | 京阪神ビルディング | 2020/11 | 公開買付（買付予定株数は20%に相当する10,206,100 株。公開買付成立後の所有割合29.33%） |
| Effissimo Capital           | 東芝        | 2020/12 | 臨時株主総会招集請求（取締役3名選任）※議決権行使に関する経営陣への調査。                |
| Farallon Capital Management | 東芝        | 2020/12 | 臨時株主総会招集請求（成長投資及び資本政策の方針の変更、資本政策を株主総会に上程する定款変更）      |
| RMB Capital                 | フェイス      | 2020/12 | 増配、自社株買いを要求（レターを公表）                                  |
| シティインデックス                   | 日本アジアグループ | 2021/1  | 公開買付（買付予定株数の上限無し）                                    |
| Effissimo Capital           | サンケン電気    | 2021/2  | 公開買付（買付予定株数は20.03%。公開買付成立後の所有割合30%）                  |
| Nippon Active Value Fund    | 荏原実業      | 2021/2  | 増配を求める株主提案を実施                                        |



# 日本におけるアクティビストの活動状況

## 日本で活動するアクティビストファンド数の推移

- 欧米系アクティビスト
- アジア系アクティビスト
- 国内系アクティビスト



【ファンド数の定義】

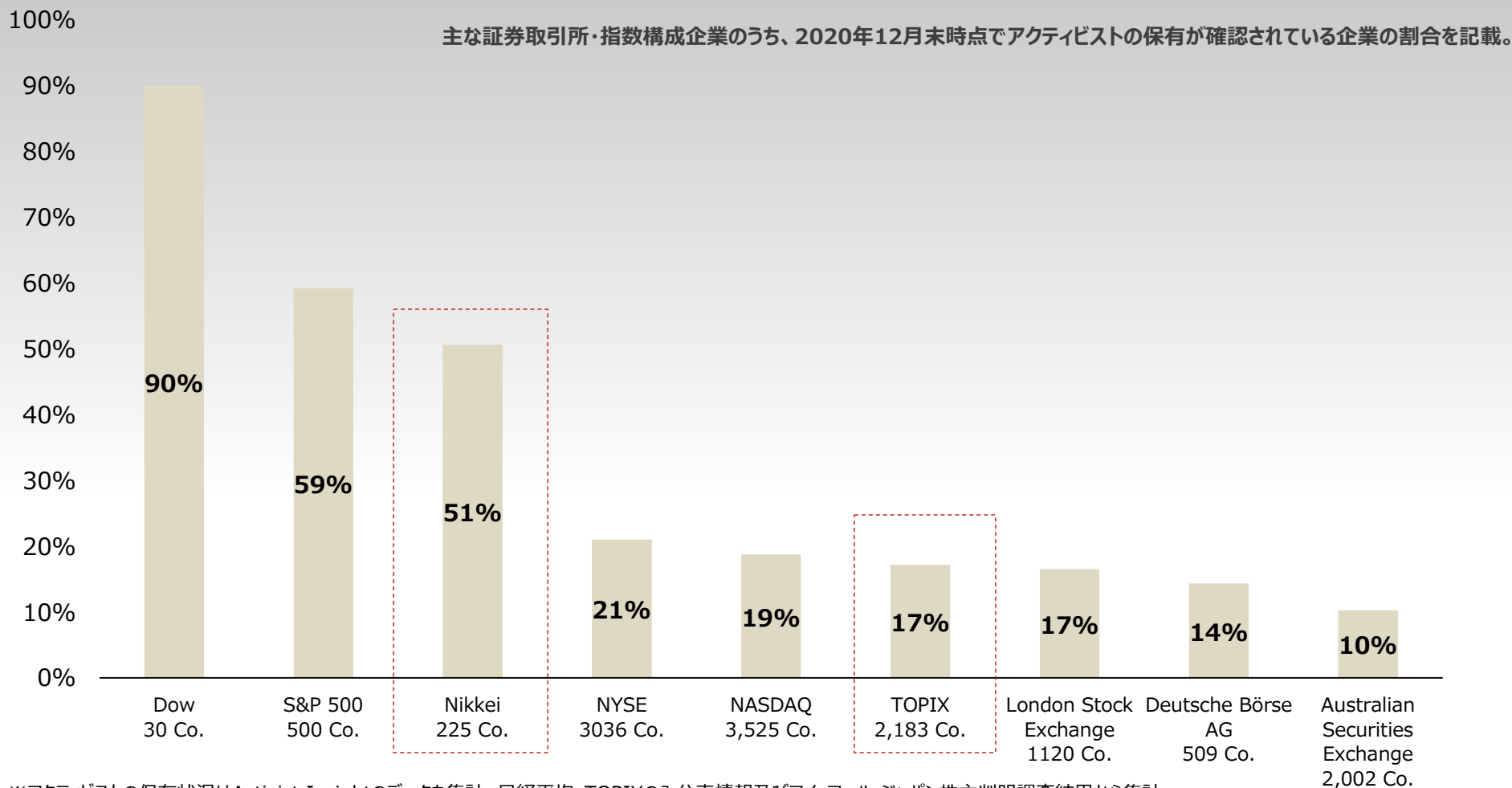
日本株投資が明らかとなっており、国内または海外でアクティビスト活動実績(※)があるファンド数を記載。

アクティビスト活動を開始していない時期の日本株投資はファンド数に含まない。(※ 株主提案提出、レター・キャンペーンサイト公表、メディアを通じたパブリックな要求等)

データ出所：アイ・アール ジャパン集計



## 主要証券取引所・指数構成企業におけるアクティビスト保有割合

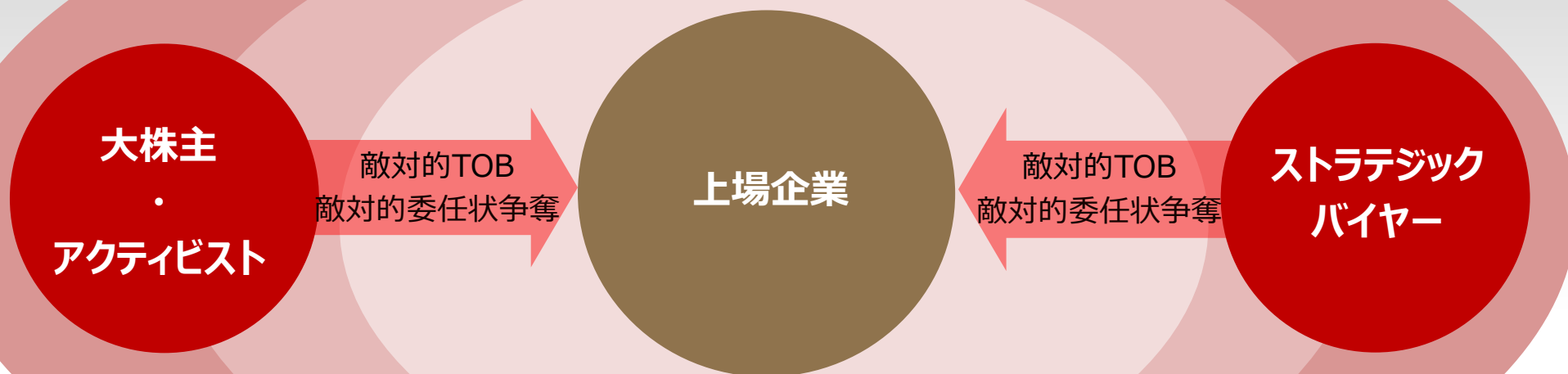


※アクティビストの保有状況はActivist Insightのデータを集計。日経平均・TOPIXのみ公表情報及びアイ・アール ジャパン株主判明調査結果から集計。  
証券取引所の上場企業数はWorld Federation of Exchanges及び東京証券取引所調べ。London Stock ExchangeはAIM上場企業を除く数値。





## 支配権争奪に関する 巨大なM&A市場が創出されつつある



大再編時代に入り、ストラテジックバイヤー（国内・海外事業会社）や大株主（事業会社・創業家等）やアクティビストによる支配権争奪が企業の成長戦略の重要な手段として定着



# 大再編時代の唯一無二の エクイティコンサルタントの基盤を構築

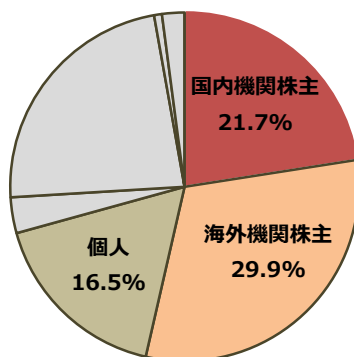
キャピタルマーケットデータをAIによって最適に活用

## 独自のAI 及び グローバルリサーチ体制

国内・海外 計  
約**6,000**名  
グローバル議決権担当者の情報

全世界  
約**10,000**件  
アクティビストの投資活動実績

### コーポレート日本の株主構成



非安定株主比率  
約**68.1%**

### ProxyおよびTOBで 圧倒的実績を有するFA

- TOB
- Proxy Fight
- 臨時(定時)株主総会

### 支配権争奪に関わる M&Aトランザクション

**NEW**

株式会社 J O I B



# JOIB(Japan Originated Investment Bank)の設立

■ 投資銀行業務の今後の飛躍的な拡大を図るべく、  
株式会社JOIBを設立  
(Japan Originated Investment Bank)



■ 日本の企業文化ならびに企業価値・株主価値を尊重する我が国生まれの異才なインベストメント  
バンクとして、支配権争奪ならびに企業再編・事業再編等のM&Aに特化する専門的なFA業務を  
ラージキャップからミドル・スモールキャップの市場に至るまで展開

## 会社概要

### 株式会社JOIB

(Japan Originated Investment Bank, Inc.)

所在地 東京都千代田区丸の内三丁目4番1号

資本金 100百万円

設立年月日 2021年2月4日

株主構成 株式会社アイ・アール ジャパンホールディングス  
100%

## 事業内容

支配権争奪ならびに企業再編・事業再編等の  
M&Aに特化した専門的なFA業務

- 企業買収・統合・売却アドバイザー
- 事業買収・統合・売却アドバイザー
- MBOアドバイザー（ノンスポンサー／スポンサー）
- LBOアドバイザー



# 大再編時代のエクイティコンサルティング・ M&Aエグゼキューションを最適に担う専門集団

## 大再編時代のエクイティコンサルティング・ M&Aエグゼキューションを最適に担う専門集団

### SRコンサルティング

- 株主判明調査
- 資本リスク対応支援
- ストラテジックレビュー
- ガバナンスコンサルティング
- ESGコンサルティング

上場企業約3,600社を  
網羅

### 投資銀行

- プロキシアドバイザー
- アクティビストディフェンス
- 支配権争奪
- 委任状争奪
- プレースメント・エージェント業務

独自のTOB・議決権行使  
データをフル活用

シミュレーションによる戦略立  
案と具体的な実行能力

## J O I B

- 企業買収・統合・売却  
フィナンシャルアドバイザー
- 事業買収・統合・売却  
フィナンシャルアドバイザー
- MBOアドバイザー
- LBOアドバイザー

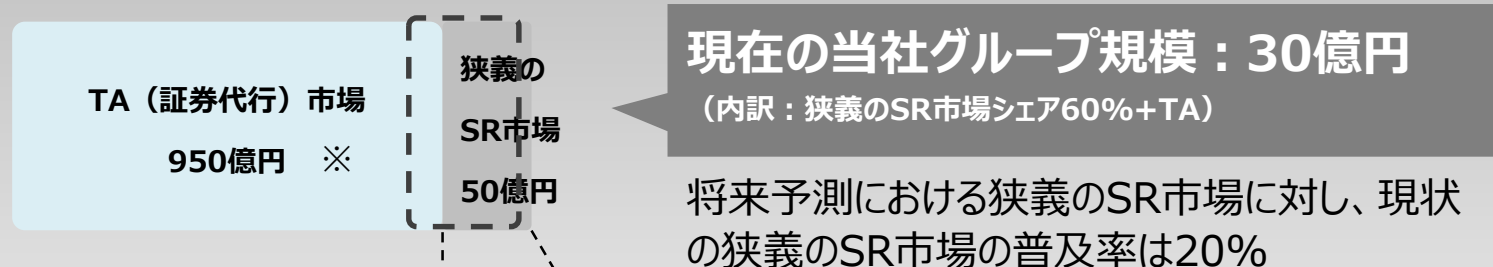
### M&Aエグゼキューション

支配権争奪・企業再編に  
特化した専門的FA



# 長期的に当社グループが目指す規模

## 現在の広義のSRコンサルティング市場（証券代行含む）



## 将来の広義のSRコンサルティング市場（証券代行含む）

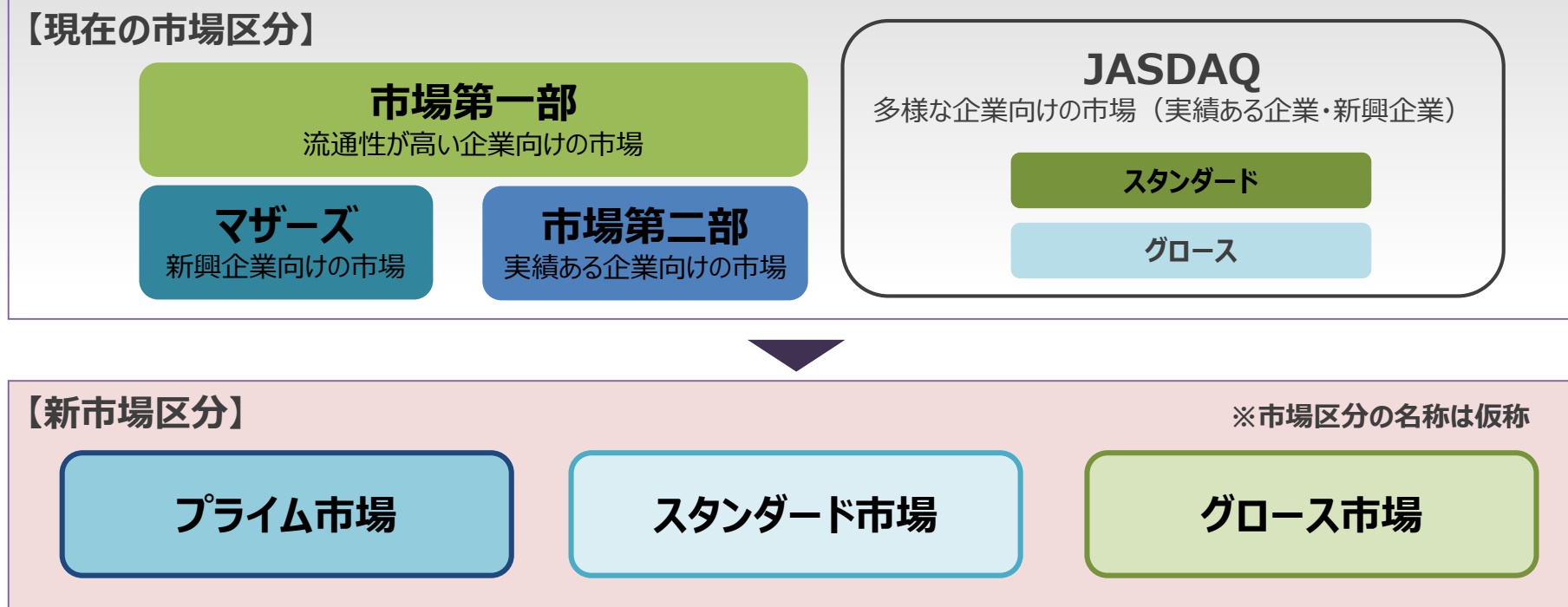


**長期的に当社グループが目指す全体規模：900億円**



# 東証の市場区分の見直し

- 日本取引所グループは、当取引所は、現状5つの市場区分に関して、2022年4月1日を目途に、プライム市場・スタンダード市場・グロース市場の3つの市場区分への見直しを実施予定
- 市場区分の見直しに向けた移行プロセス発表の影響を受け、今後、企業再編の動きがさらに加速することが予想される



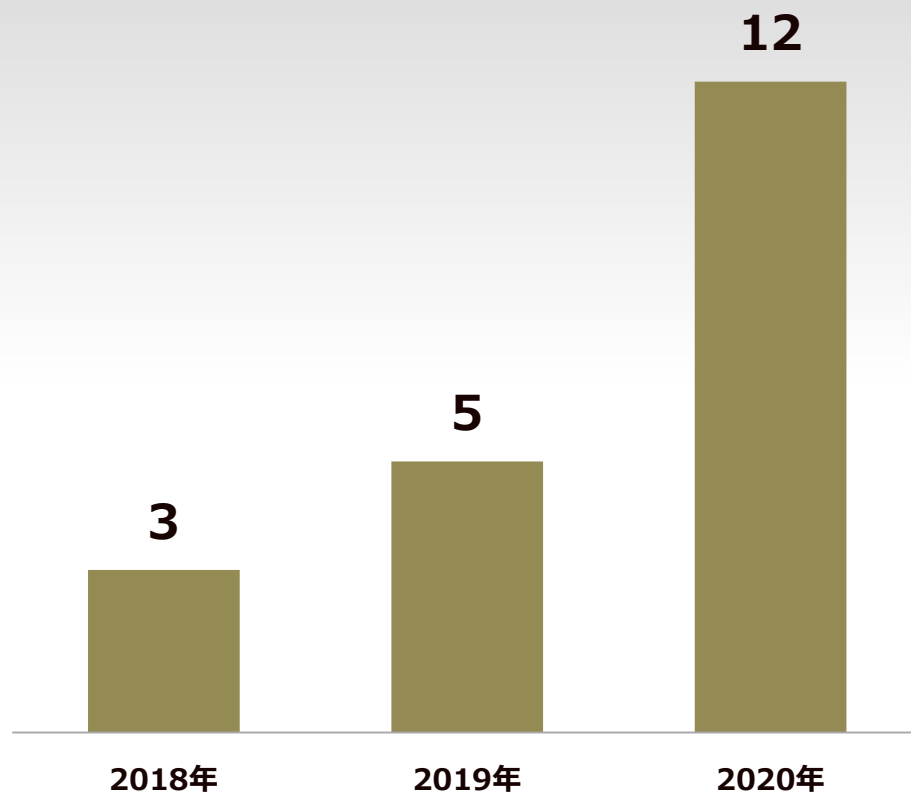
出所：JPX「新市場区分の概要等について」を参考に作成



## MBO案件の支援

■ MBO等の非公開化においても、株主の支配権構造をめぐる高度かつ豊富な経験をベースに、専門FA集団による高度なスキーム立案とその実行能力に評価が高まる

MBO件数の推移



MBOにおける当社支援案件

### 2020年

- 豆蔵ホールディングス（対象会社側FAとして支援）
- オーデリック（買手側FAとして支援）
- 川金ホールディングス（買手側FAとして支援）

### 2021年

- 大成（買手側FAとして支援）

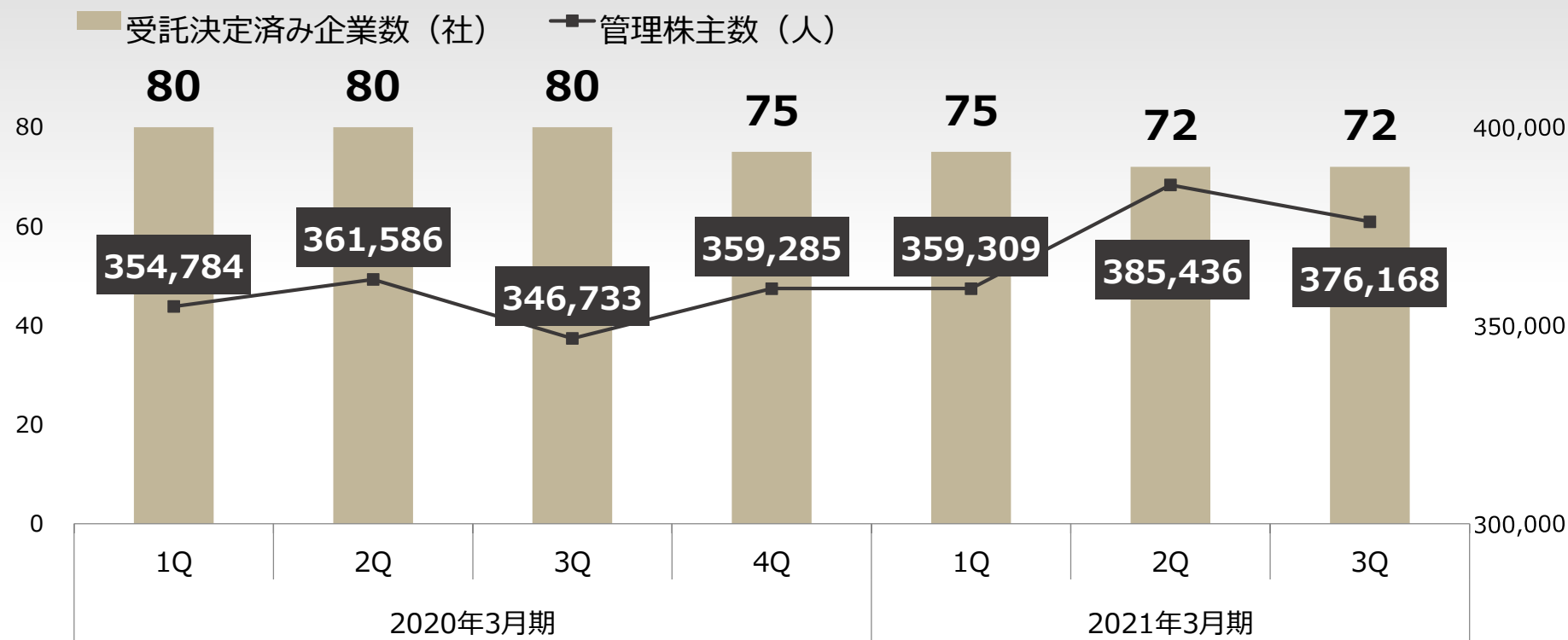
### 戦略的な非公開化における当社支援案件（2020年）

- ソフトブレーン（対象会社側FAとして支援）



■ 受託企業数は72社、管理株主数は376,168名となる。(2020年12月31日時点)  
従来の証券代行機関とは一線を画し、アクティビスト・敵対的TOBからの企業防衛の観点での戦略的な営業展開を継続して進める

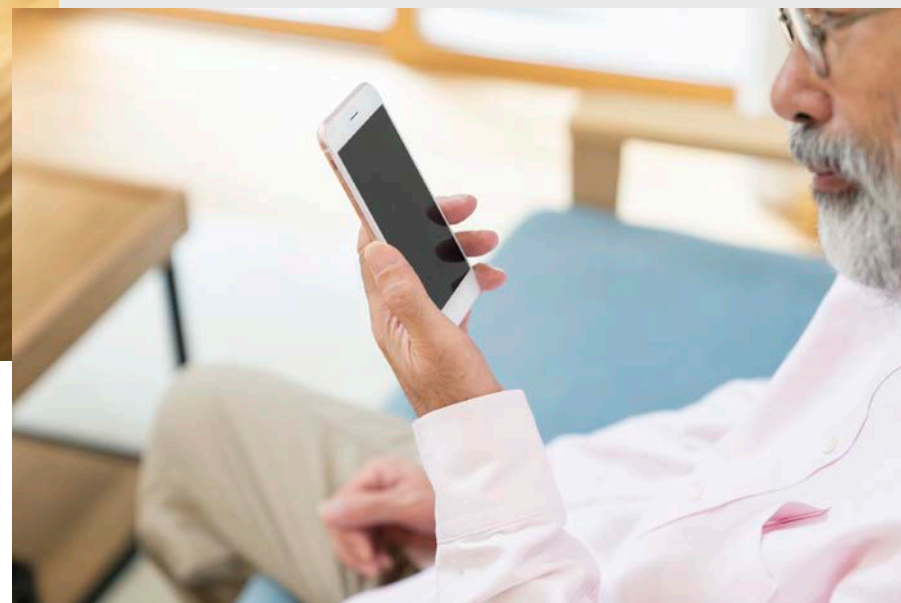
証券代行業務の受託件数の推移







■ バーチャル株主総会、議決権の電子行使等、当社が得意とするイノベーションを駆使しながら最先端の証券代行機関としての受託拡大を目指す



## 2. 業績予想・株主還元



# 2021年3月期通期連結業績予想（2021年2月4日時点）

■ SR業務の順調な拡大とともに、PA・FAの投資銀行業務の大型プロジェクトの受託増加を見込む

|                  | 当期見通し<br>(2021年3月期) |               |              | 前期<br>(2020年3月期) |              |
|------------------|---------------------|---------------|--------------|------------------|--------------|
|                  | 金額<br>(百万円)         | 前期増減<br>(百万円) | 前期増減率<br>(%) | 金額<br>(百万円)      | 前期増減率<br>(%) |
| 売上高              | 9,700               | 2,017         | 26.3         | 7,682            | 59.1         |
| 営業利益             | 4,700               | 1,073         | 29.6         | 3,626            | 152.8        |
| 経常利益             | 4,690               | 1,078         | 29.9         | 3,611            | 149.5        |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 3,150               | 704           | 28.8         | 2,445            | 150.3        |



- 年間配当額は中間配当と合わせ1株につき年間85円（15円増配）を予定。  
また、自己株式の取得に関しては、株価水準に応じて、適時、適切かつ機動的に行う予定

| 1株当たり配当金       | 中間  | 期末  | 年間  | 配当性向  |
|----------------|-----|-----|-----|-------|
| 2021年3月期（予想）   | 35円 | 50円 | 85円 | 47.9% |
| 2021年3月期（期初予想） | 25円 | 45円 | 70円 | —     |
| 2020年3月期 実績    | 25円 | 45円 | 70円 | 51.0% |

### 3. 参考情報



# Power of Equityのフィールドと市場規模

## IR (Investor Relations) 投資家対応

**広義のIR市場：450 億円**

- ◆制度的ディスクロージャー  
・金商法関連事業
- ◆自発的ディスクロージャー  
・株主通信、ディスクロージャー誌、  
英文IR書類等
- ◆IR支援全般  
・説明会、カンファレンス、MTG…

### 主要プレイヤー

プロネクサス／宝印刷

野村IR／大和IR／日興IR

日本投資環境／日本シェアホルダーサービス

## SR (Shareholders Relations) 株主対応

**広義のSR市場：1,000 億円**

- ◆証券代行
- ◆株主総会関連支援  
・事前賛否シミュレーション  
・総会議案可決アクションプラン  
・議決権行使結果分析
- ◆株主判明コンサルティング  
・実質株主判明調査

### 主要プレイヤー

三菱UFJ信託／三井住友信託／  
みずほ信託

## M&A (Mergers and Acquisitions) 企業買収

**M&A市場：6,000億円**

### ◆M&A手数料

### 主要プレイヤー

野村證券／みずほFG／ゴールドマンサックス

大和証券／JPモルガン／MUMSS／三井住友FG

GCA／日本M&Aセンター／M&Aキャピタル

ストライク

出所：  
M&A市場規模はMARR統計における  
2018年日本企業関連M&A金額（約30兆円）にかかる  
手数料率を2.0%と仮定し算出。

## 法曹界 リーガルサービス

**LA市場：2,000億円**

- ◆ビジネス法（会社法、金商法等）対応
- ◆コーポレートガバナンス

### 主要プレイヤー

アンダーソン・毛利・友常法律事務所

長島・大野・常松法律事務所

西村あさひ法律事務所

森・濱田松本法律事務所

TMI総合法律事務所

出所：  
証券代行は直近の手数料収入または業務粗  
利益に基づき算出。IR会社および証券印刷会  
社は直近の売上に基づき算出。

出所：  
日本IR協議会が実施したIR活動の実態調査に  
おける「IR活動にかかる平均年間費用」に基づき  
、証券印刷会社・IR会社の直近の売上を考慮  
して算出。  
主要プレイヤーの売上は各社直近期末決算短  
信、有報より記載

## 当社のコア・マーケット規模の合計

約 **1** 兆円



# 当社株式保有の総合利回り（TSR）

| 期間             | 2020年3月（期末） | 2021年1月末  |
|----------------|-------------|-----------|
| 1年             | 304.09%     | 330.23%   |
| 3年             | 673.90%     | 1577.53%  |
| 5年             | 1222.39%    | 6276.28%  |
| 上場来（2011.3.17） | 2820.25%    | 13099.44% |

※TSR：キャピタルゲインとインカムゲインの総和で算出され、計算期間中のインカムゲインは再投資されたものと仮定し、その配当の再投資分を加味した価値



# (ご参考)2021年3月期 第3四半期サービス別売上高

|                       | 当第3四半期連結累計期間<br>(2020年4月—2020年12月) |             |              | 前年同期<br>(2019年4月—2019年12月) |
|-----------------------|------------------------------------|-------------|--------------|----------------------------|
|                       | 金額<br>(百万円)                        | 構成比<br>(%)  | 前期増減率<br>(%) | 金額<br>(百万円)                |
| IR・SRコンサルティング         | <b>5,543</b>                       | <b>92.3</b> | <b>22.8</b>  | 4,515                      |
| ディスクロージャー<br>コンサルティング | <b>341</b>                         | <b>5.7</b>  | <b>▲23.0</b> | 443                        |
| データベース・その他            | <b>123</b>                         | <b>2.1</b>  | <b>▲11.1</b> | 139                        |



# Power of Equity

私たちアイ・アール ジャパンは、議決権の力を軸に資本市場の発展に向け、  
付加価値の高いサービスを提供するコンサルティング企業です。

Power of Equity

IR Japan



**「Power of Equity」** は、株式会社アイ・アールジャパンの登録商標です